

公開シンポジウム シラバス作成を科学にする

—日本語教育に役立つ多面的な文法シラバスの作成—

このシンポジウムではシラバス作成を「科学」にすることを目指します。OPIデータから導き出した初級文法シラバスと日本語学の理論から導き出した初級文法シラバスが、概ね一致していたことは偶然なのか必然なのか。それを知るために、さらに別の角度から複数の文法シラバスを作成し、それらの共通点・相違点を探求します。多面的・客観的にシラバスを眺めるという新たな挑戦です。これによって、理想の文法シラバスの姿を見極め、同時に、シラバス作成を科学にするための方法を模索します。

1. 日時

2014年2月22日(土) 13:00～16:30 (12:30 開場)

2. 場所

一橋大学 国立東キャンパス 東2号館 2301 教室 (国立駅徒歩8分)

3. プログラム

● 基調講演 I

「文法シラバスの作成を科学する」 (庵功雄・一橋大学)

● パネル発表

「口頭表現出現率 から見た文法シラバス」 (岩田一成・広島市立大学)

「生産性 から見た文法シラバス」 (中俣尚己・京都教育大学)

「日本語能力試験 から見た文法シラバス」 (森篤嗣・帝塚山大学)

「既存テキスト から見た文法シラバス」 (田中祐輔・東洋大学)

● 基調講演 II

「文法シラバスの現場への導入を科学する」

(山内博之・実践女子大学)

入場無料・申し込み不要 (定員 300 名)

お問い合わせは nakamata@kyokyo-u.ac.jp (中俣尚己) まで

主催：国立国語研究所領域指定型共同研究プロジェクト
「学習者コーパスから見た日本語習得の難易度に基づく語彙・文法シラバスの構築」
(代表：山内博之)